

たねや、クラブハリエの目標「2023年に食品のリサイクル率を98%に」

【たねや、クラブハリエの概要】

- 創業：明治5年（1872年）
- 事業内容：和・洋菓子の製造販売、喫茶・食事
- グループ構成：（株）たねや、（株）クラブハリエ、（株）たねや農藝
- 本社：滋賀県近江八幡市
- 主な商品：どらやき、バームクーヘン 等



たねや、クラブハリエの目標を「食品のリサイクル率を98%にする」と設定し、様々な取組を実施

【主な取組】

- 近江八幡工場と愛知川工場に**廃棄物計量管理システム**を導入（2002年）
- **リサイクラー**（餡粕を乾燥させて飼料として販売）の導入（2005年）
- 商品展開による取組（ふぞろいなお菓子を商品化）（2020年8月～）
- 商品の規程のみなおし（2021年2月～）
- **フードバンクとの提携**（2020年）
- **社内講習会**の実施 等



フードバンクへの引き渡し

【取組の成果】

商品の規定見直し後、「バームクーヘン端材」のロスは**約4割減**

取組に関連するSDGsの目標





自社でのリサイクル（2005年導入）

製造ラインで発生した餡粕をリサイクラーによって乾燥させ、飼料として有価で取引している。

リサイクラーは1日2回乾燥させる（1回につき50Kg投入し、乾燥は約18時間）。

使用電力は1運転で40KWH。

処理しきれない分は産業廃棄物として委託業者にて飼料化している。

リサイクラー（ヒーター加熱、温風乾燥方式）



規定のみなおし（2022年2月～）

職人が大切に作り上げた美味しいバームクーヘンを多くのお客様に届けたい、という思いから、今までのバームクーヘンの見た目の美しさの価値に多様性をもたせ、美味しさを追求して生じる個性は規格内であるとした。



規定見直し後「バームクーヘン端材」のロスは約4割減

商品展開による取組（2020年8月～）

【バームクーヘンMIMI】

今までは飼料となっていたバームクーヘンの端部分を商品化し、「MIMI（みみ）」として販売。

【ふぞろいリーフパイ】

膨れすぎたり大きさが不ぞろいの規格外のリーフパイを販売。

